

根子岳山スキー報告

山行日:2016年 1月16日(土) 晴れ

メンバー: 菊池典雄(CL)、加藤洋子、薄井まどか、井上志津子(記)

コースタイム: 8:40 奥ダボス駐車場—リフトトップ 9:30—避難小屋—12:30 根子岳
山頂—12:45 藪スキー—奥ダボスゲレンデ—14:50 奥ダボス駐車場



報告:

朝5時に矢切り駅前でCIの車にPUしていただき、高速に入る。山が見えてきても初冬のような、中々雪景色とならないながらも順調に景色は変わり、8時半に上田市真田町菅平高原奥ダボス駐車場に着いた。ゲレンデは十分の積雪量があり、駐車場で装備を整え、リフト(@500円)で奥ダボストップへ向かった。

藪を睨んでルートを選択するCI

今回で4回目の根子岳山スキー参加となるが、むしろ藪スキーだね、という声が聞こえるほど雪が少ない。通る道のみ雪がある。登るのはよいが帰り(下山)はどこを降りてくるのだろう。これまではゴルフ場からハイクアップしたが、今回は奥ダボスからリフトで上



がったので避難小屋までも1時間ほどで着いた。軽く行動食をとり、頂上目指して進む。今シーズン初めてなのでなかなか調子がでないが、呼吸を合わせてリーダーに続く。そろそろ雪のモンスターが出る頃とも思っても樹木の上のほうだけ綿雪がかぶっている。



もう1度休憩するとやがて目の前に崖が出て板を外して担いで登り切る。ハーハーいうもののもうすぐ頂上とわかっているので、疲れは感じない。スキーを履き直しすぐに祠が見えてきて頂上に着いた。食べたり飲んだり写真を撮ったりで15分ほどで過ごして下山にかかる。用意のヘルメットとゴーグルを着けた。積雪が少なくブッシュがそここみにみえて、今月例会で話題になった笹地獄の話を思い出す。シールをつけたまま崖までもどり、スキ

一を担いで降りてシールを外して滑走モードとなった。みたところ笹藪のうえにふわっと
またはぼったりと雪が載っておりどこでも滑れるよ、というようにみえず、かろうじて雪
のある登山道を横滑りやボーゲンで下ることになった。

今シーズン初めての山スキーでゲレンデ練習をしないで参加して、少々難度が高く転び
ながら降りた。終盤奥ダボスゲレンデに降り、気持ちよくクールダウンして楽しかった。



根子岳への道は家族で何度も菅平高原へ行ったことがあり懐かしい。今年は特に真田丸
の旗がはためている。雪が少なくても根子岳頂上からの景色が見えてうれしかった。
真田温泉で汗を流しおいしいおそばを食べて、渋滞に遭わず帰葉した。
大事故の後で、菊池リーダーと薄井さん安全運転ありがとうございました。
また、藪スキーの体験も貴重であったかと思えます。
リーダーと同行の皆様ありがとうございました。